

佐賀県基山町
学校法人久留米大学
鳥栖三養基医師会
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ九州
株式会社アイロム CS
株式会社 OKEIOS

**高齢者交流施設「通いの場」をリアル×デジタルで活性化するファストケア構想
包括連携協定を結ぶ佐賀県基山町と久留米大学が採択
～鳥栖三養基医師会やNTTデータ九州など6団体で協議会を発足～**

町民の健康増進や地域活性化を目的とした包括的な連携協定^{※1}を締結している基山町（佐賀県三養基郡）と久留米大学（福岡県久留米市）は、更なる健康増進・地域活性のため、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ九州（福岡県福岡市 代表取締役社長 佐藤歩 以下 NTT データ九州）が提唱する「ファストケア構想」を採用し、今後、地域住民の健康に関する気付きや取組み促進、企業と連携した地域活性化施策の検討などに取組みます。

本取組みの円滑な推進のため、医療現場との連携を支援する一般社団法人鳥栖三養基医師会（佐賀県鳥栖市 会長 原田良策）、治験ノウハウによるデータマネージメントを行う株式会社アイロム CS（福岡県福岡市 代表取締役社長 森豊隆）、健康に関するデータを取り扱うブロックチェーン型流通基盤や AI 分析を手掛ける株式会社 OKEIOS（福岡県福岡市 代表取締役社長 中村高歩）を加えた6団体での協議会を2020年12月25日に発足しました。

NTTデータ九州が提唱する「ファストケア構想」とは、“健康”だけではなく、“生きがい”や“自立”を含めたQOL向上を目標とした地域密着型のヘルスケアエコシステムであり、これまで別々に施策を講じていたITとリアルを融合させることで、手軽で持続的な働きかけによる能動的なセルフメディケーション（健康の自己管理と増進）や、QOL向上のための地域の事業連携による地域経済活性化の実現を目指します。

協議会では、基山町協力のもと収集する町民の健康に関する情報（主に国保被保険者の健診情報、レセプト情報など）のAI分析にて得られる健康リスクの見える化、「通いの場」^{※2}（リアル拠点）とオンラインを駆使した交流で生まれる利用者と基山町など健康増進の支援者とのパートナーシップによる利用者のモチベーションの維持・向上、健康への取組みへ付与するポイント等で形成する地域トークンエコノミーの流通による健康価値の創出と地域活性化など、地域住民が健康増進への取組みを無理なく持続でき、地域活性化にも繋がる仕組み作りを推進します。

なお、リアル拠点利用においては、予約システムや、混雑通知サービスなどを導入することで、三密を避けて安心・安全に利用頂ける健康増進の拠点として活用していきます。

包括的な連携協定^{※1}においては、これまでも基山町の健康増進計画に則り、特定健診データの「糖尿病」「腎疾患」「認知症」の分野での解析・研究や、「基山町ふれあいフェスタ」での健康チェックや健康相談を行うなど、地域の健康増進等についての取組みを推進してきましたが、今回の協議会発足により、ITや医療現場の知見を結集し、地域住民ひとりひとりに対し、より具体的かつ持続的な働きかけや、収集されるライフログ等を活用した新たな価値を提案していきます。



※1 基山町と久留米大学の包括的な連携協定 (<https://www.kurume-u.ac.jp/site/backno/20191113.html>)

※2 地域がいきいき 集まろう！通いの場 (<https://kayoinoba.mhlw.go.jp/>)

<基山町実証実験について>

<https://www.pikics.com/fastcare>

<本件に関するお問い合わせ先>

Mail : fastcare_kiyama@googlegroups.com